

# 【C部門】

まるごとと生き生き！  
行きたくなる居場所

助成団体

ボランティア団体「marugo-to」（まるごと）



**be Orange**



# 活動の様子

# | 活動内容

- ・イベントの企画（さつまいも掘り大会：クリスマス餅つき大会、marugo-toコンサート、yorugo-to（収穫祭））を開催しました。コロナ感染拡大で参加する人数や周知に制限はあったが、参加者の生き生きとした表情を写真におさめることが出来た。
- ・まるごーとの活動を知ってもらって「みんなが生き生き！行きたくなる居場所」を増やしていくために紹介動画をYouTubeで配信した。
- ・日々の活動の様子やイベントの様子をSNS（Facebook・ホームページ）に投稿した。
- ・活動を通じて認知症だけではなく生きづらさを抱えた人など多様性の理解や啓発活動（まるごーと通信）
- ・メンバーと一緒に小中学校や一般市民、専門職に向けた講演活動（燕市、胎内市、新潟市（秋葉区、東区、西蒲区）JA中央会、にいがた市民大学）
- ・新聞の取材、全国誌「家の光」（2021・12月号）の掲載、NHKハートネットTVの取材、他県（宮崎県、千葉県）ZOOM機能を使って研修に参加した。
- ・ホームページをリニューアル（URL工事中）

# ｜活動実施による効果

(地域への影響や認知症当事者の方の変化など)

- ・ SNS (YouTube・Facebook) を通じて多くの方に活動について知ってもらうことができた。また、講演活動や新聞、全国誌の掲載により SNS を利用していない人、幅広い世代 (特に60歳代以上) の人たちにも文字で伝えることができた。
- ・ 自治会のイベントに参加する (声をかけてもらえる) 機会が増え、活動が地域住民に認識されるようになり、活動を応援してくれる人やイベントへの差し入れ、開催時のお手伝いなど主体的に参加、協力してくれる人も少しずつ増えてきた。
- ・ いちばんは、1月に開催予定だったがコロナ感染拡大で延期になっていた「marugo-toコンサート (開催日: 6月5日・場所: 松野尾コミュニティーセンター・参加人数130名)」を地元で開催できたこと。特に、若年性認知症当事者の奏でるフルートは、音楽を通じて認知症になっても障がいがあっても自分を表現できることを多くの人に伝えることができた。

# | 助成金の使用実績

助成額：500,000円

機材一式購入費	234,554円	(撮影機材カメラ式、パソコン)
PR動画作成費	165,000円	
ホームページ作成費	100,000円	
缶バッチ購入費	26,100円	
合計	525,654円	